

私らしい動きかた

OSAKI

SAPOSEN

2022.August

take free

しゅんしゅんのきもち

「山河微笑」

……平和な世の中でみんなが幸せでありますようにお祈り申し上げます。(しゅんしゅんII佐々木俊一・センター長)

citizen project

いま気になる☆ 「市民」プロジェクト

Q シトラスリポンはどんな
想いでつくりましたか？

A Ri: コロナウイルス感染へ
の差別が何年経ってもなく
ならないので、差別や偏見のない
平和な世の中になってほしいとい
う気持ちで作りました。

Ru: 昨年度、いまの三年生部員四名
で制作しました。三つの輪を均等
に作るのが難しかったですが、ひ
とつひとつカタチが違うのも手作
りの良いところかなと思っていま
す。

Q みなさんの「このまちで、
あるいは他の場所で《今後
こんなことしていきたい!》を
教えてください。



この日は布巾を製作中。出来上がった布巾は社会福祉協議会へ寄付する予定です。



家庭部には総勢34人が所属。男子も7人います。

お話を聞かせてくれた人



表紙でご紹介した古川学園高等学校の家庭部の皆さんに、お話を聞かせていただきました。

古川学園高等学校 家庭部

A Ru: 大崎に居たい気持ちと、
他の場所に出てみたい気持ち
が半々ですが、子どもに関わる
活動に携わってみたいです。

Ju: 使われていない施設がまちの
中にたくさんあると気づきまし
た。同じ気持ちの人たちが集まっ
てそこで何かを開催したり、販売
したり、有効活用できれば、より楽
しいまちになると思います。大崎
からは出るかもしれないけれど、
県内には居たいので、帰ってきた
くなるまちになるといいなと思
います。

特集

モヤッとがまちを変えていく!



自分らしくやることはなんだろう?



column
じゅんじゅんの
つぶやき

「市民活動とは」を検索していたとき、こんな一文が目留まりました。
「義務でもなく誰からも強制されず自主的に行う活動。(中略) 実は、
たったひとりの思いから始まります。そして「今までにない新しい価値
を生み出せることは、市民活動の大きな魅力」とも。
コロナ禍で規制されることが多かったためか、ちょっとココロに響いてし
ました。お茶こしながら誰かの「思い」を聞いてみたいな。
(じゅんじゅん=小玉順子・おおさき地域創造研究会事務局長)

staffs アナザースカイ

情熱の国の冷たいガスパチョ

スペイン南部アンダルシアの夏は50°C近くまで気温が上がります。
セビージャに滞在して初めての夏、熱さで夜も眠れず食欲不振が続いていました。
そんな私を心配したアパートの大家さんがこれを飲みなさい。と作ってくれたのがガスパチョ。ガ
スパチョとはトマト、ピーマン、きゅうり、ニンニクをミキサーなどですり潰してオリーブオイル、酢を
入れて作る冷製スープです。心も体もカラカラだった私に、ガスパチョの美味しさと大家さんの優
しさが染みわたりました。
今年もガスパチョを作りながらセビージャを思い、暑い夏を乗り切ろうと思うこのごろです。
¡Hasta la próxima!

(サポセンスタッフ・みゆき
高校生の時に出会ったフラメンコの楽しさに惹かれ、スペインへ長期留学経験あり)



サポートセンターをご利用の方には、隣接するJA古川駅前駐車場の2時間無料サービス券を発行しています。

〒989-6162
大崎市古川駅前大通1-5-18
ふるさとプラザ2階
TEL/0229-22-2915
FAX/0229-22-9955
E-mail npo@bz01.plala.or.jp
開館時間：午前9時～午後9時
休館日：毎週月曜日、年末年始
(12月29日～1月3日)

大崎市市民活動サポートセンター (サポセン) って?

「地域が暮らしの困りごとをなんとかしたい」「もっとより良いまちにしたい」そんな市民のみなさんの想いを「カタチ」にするお手伝いをしています。お気軽にお問い合わせください。

- ◎場をつくります(話し合う場・講座等)
- ◎人と人をつなぎます(人と人・人と地域・団体と行政等)
- ◎相談できます(仲間づくり・NPO法人設立や解散等)
- ◎情報をお届けします(助成金、補助金情報・団体情報等)

会議室や書類保管庫などの施設もあります。活動に役立つ講座も随時開催中。最新情報はSNSをチェック!

OSAKI SAPOSEN 2022. August
発行企画 大崎市市民活動サポートセンター
編集デザイン オオサキノオト編集室



最新情報は
こちらから!

次号(10月発行)では、高校生のボランティア体験をレポートします。お楽しみに♡

古川学園高等学校 家庭部

だれにでも優しく、暮らしやすい大崎を願って。

五月下旬、古川学園高等学校・家庭部の皆さんが手作りのシトラスリポン三十個を、大崎市市民活動サポートセンターに届けてくださいました。

シトラスリポンの入った袋にはこう書かれています。
《私たちが住む大崎市も、みんなが暮らしやすく優しい空気ではいっばいのまちにしたい。そんな想いを込めて手作りました。》
部活動の一環として作成したシトラスリポン。この皆さんの思いや行動が、実は社会と繋がるきっかけの市民活動になっています。

シトラスリポンプロジェクトとは

新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見の解消を目指し、愛媛県の有志「ちよびつと19+」が始めた運動。シトラスカラー(柑橘をイメージした色)のリボンで形作る三つの輪は「地域・家庭・職場(学校)」を表しています。





【団体名】 特定非営利活動法人おおさき地域創造研究会
 【設立】 2003年(2010年10月法人化)
 【会員数】 正会員22名、賛助会員12名(2022年4月現在)
 【これまでの主な活動】
 話し合いの場づくり/被災者支援/移住者支援/
 女性相談窓口の開設 など

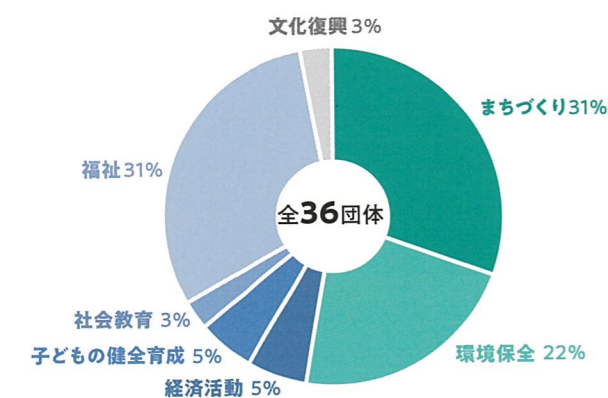
Q 様々な話し合いをしたと思いますが、課題の解決という視点ではどうですか？
 A 話しているうちにヒントが見つかり、解決の糸口になることも。集まった当初には顕在化していなかった人口減少社会や移住支援など、地域の課題にゴールはあってないようなものです。困ったらみんなで話し合う。まちはみんなで作るものだから。

合併後、地域計画をつくるために話し合いの場が必要とされていきました。女性・青年・子育てママにも参加してもらいたいと区長さんをお願いし、笑い声のある話し合いの場になりました。でもどうやったら「本音で話す場」になるか、今も考え続けています。

data

こんなにある!? 大崎市の市民活動

現在、大崎市には、NPO法人、任意団体、公益・共益サークルあわせて200以上の市民活動団体があります。このうちNPO法にもとづき、設立承認を得ているものは36団体あります。(2022年6月末現在)



たとえば、環境保全団体では「シナイモツゴ郷の会」や「エコパル化女沼」、まちづくり団体では「エフエムおおさき」など、みなさんも一度は聞いたことがあるのではないのでしょうか。きっとあなたの身近なところで、今日もおおさきの市民活動が行われているはず。

女の子や女性のみなさん、お話を聞かせてください!
「まらっと相談室」

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、学校や職場、家庭での悩みや不安をひとりではかかえ込んでいませんか？
 女の子や女性のみなさんの、一歩を踏み出すお手伝いをします。お気軽にご相談ください。

電話090-6684-4970(平日10時~18時)
 ※対面相談も行っています/要予約
 みやぎの女性つながりサポート型支援事業の委託を受け、おおさき地域創造研究会が実施しています。



case study

モヤっとから始まった団体 おおさき地域創造研究会 「合併後の大崎はどうなるの？」 からスタートした市民活動

2006年、1市6町(古川・松山・三本木・鹿島台・岩出山・鳴子・田尻)が合併し、大崎市が誕生しました。合併が決まった2003年から、住民で色々な意見を出し合い、地域づくりを学ぼうと市民有志で立ち上げたのが、おおさき地域創造研究会です。代表の大和弘さんにお話を聞きました。

Q 「話し合い」を大切にしているそうですね。
 A 合併後、地域計画をつくるために話し合いの場が必要とされていきました。女性・青年・子育てママにも参加してもらいたいと区長さんをお願いし、笑い声のある話し合いの場になりました。でもどうやったら「本音で話す場」になるか、今も考え続けています。

代表
大和弘さん



information

よるカフェ



毎回さまざまなテーマで市民活動の芽を育む場として開催。肩書や性別、年齢関係なく交流できる場です。皆さんの話したい気持ちを持ち寄り、楽しくおしゃべりしませんか？
 「よるカフェ」では、市民活動の紹介/人と人をつなげる/活動とつなげる/ボランティア活動情報 などの情報共有・提供もおこなっています。

2022 よるカフェ これまで・これから

- 4月 移住者交流会 おやこで遊べる場所情報交換
- 5月 あなたの「モヤっと」お聞かせください
- 7月 今一番、興味のあることを話そう
- 8月・9月 未定

*今後の開催日時やテーマはSNSでチェック!
 *参加希望の方は電話・メール・SNSでお気軽に。

先輩にきいてみる

交流する

楽しいこと
したい

年金いくら
もらえるか?
なんでみんな
もっと働かないの?

児童館で
ケンカしたくない

子どもの
あそびば
もっとほしい!

特集 モヤっと

がまちを変えていく!

目玉焼きが
いつもしっぱい
して終わる

日本をどんな
国にしたいの?

日々、わたしたちが生活のなかで感じる「モヤっと」。モヤモヤがあるからこそ生まれる「何か」が存在し、そこには市民活動の芽が隠れているかもしれない!そんな仮説から、みなさんの「モヤっと」を募ってみました。

なつで、あついのに、
マスクで、
ますますあつくなる

精神的に
楽になり、
心穏やかに
生きたい。

背中を押してほしい
そんな時こそ声を出そう

たくさんの方のモヤっとがあり
がとうございました!

竜: 短期間でこんなにたくさん! みなさんモヤっとしてますねえ。お子さんかな? イラストで表現してくれてる!

み: コロナ関連のモヤっとも多いね。私はやっぱりマスクの下にある笑顔が見られる日常に早く戻ってほしい。

俊: モヤっとは人生の問いだと思えますよ。「漢字がすぐに出てこない」というモヤっとには、いまでも共感しています(笑)。

竜: だれかが発したモヤっとに、別のだけれど「共感」したのか、すぐとなりになるようにコメントの付箋を貼っていますね。

楓: 介護同士で和気あいあいしてるの、ホッとしゃちゃう。モヤモヤって、モヤモヤだからコミュニケーションのツールにもなるのかもね。

竜: そうですね。まずは誰かに聞いてもらいたい! あわよくば共感してほしい! そこから市民活動って始まるんじゃないでしょうか。

俊: 心のなかにあるモヤモヤを解放することで、「この人も同じ気持ちなんだ!」すごくよくわかる。ってなるよね。そんなやりとりをお手伝いできるサポートでありたいですね。

サポセンスタッフが考える 「市民活動の魅力って?」

- 俊一(自身も「すいせん植え隊」で活動) ▶「ともに作る明日!」
- 竜太(サポセンのリベロ) ▶「自分の幸せをつくる活動」
- 楓(アフリカ魂・サポセンの元気印) ▶「伝染型のハッピーパワー! どんないきもちもヒトのためになる」
- みゆき(クールに見えて実は情熱系) ▶「色々な事を感じたり・経験できる」



子どもから大人まで。市民の「モヤっと」がこんなに集まりました!